



## 積極果敢なコミュニケーションからの未来

校長 高山 直也

紫陽花の様々な色が梅雨空に映える季節になりました。子供たちの色とりどりの傘もどんより天気の色を添えてくれています。

とある休日買い物に出た山手線のある駅の昼下がり、ホーム上身体動きできないほどの人の波、海外からの方もたくさんいます。改札を出て街を歩くと、歩道にも信号待ちの人があふれ、商店がごった返しています。コロナの反動とは言えこれは壮絶。私の目的はランニングシューズだったのですが、その巨大なスポーツ店にさえ人・人・人…(私も一員…)。目を疑ったのは、シューズを選んでいる人の大半が海外からの方！あらゆる方向から多言語が飛び交い、もの凄い勢いで試し履きします。さらに驚いたのが、対応する日本の店員さん(見るからにアルバイトも含め)4,5人が、英語&笑顔でバンバン対応している…多言語の共通コミュは英語。疑似海外体験？コロナ明けに日本はグローバル化した？空前の円安だから？あっけにとられて購買意欲はなくなり、目の前で起こっていることを理解するのに必死でした。

港区の小学校に来て驚くことの中に、国際科授業内での子供の姿があります。自然な発話、臆することなき笑顔のやり取り、豊富な語彙やセンテンス。習い事等も要因ですが、子供たち自身に英語に対して照れのない、前向きに「使おう」という気概があります。白小の子は、学年関係なくその気概が高く、積極果敢な発話やコミュニケーションを楽しむ姿があります。5月24日には、明治学院大学の留学生が10人ほど来て交流しましたが、どのクラスも日頃の成果を発揮して発表し、会話していました。背の高いイケメン学生には、黒山の人ばかり(笑)。英語で雑談を仕掛け、サインをもらおうとするしたたかさも、自然体で微笑ましかったです。時は今インバウンド絶好調。ここから時代はアウトバウンド、笑顔とコミュ力で海外へ飛び出し、そして自然体で「広く国際社会」で信頼される人に！その中心は間違いなくこの子たちです。頼もしい！



## 水泳指導について

体育部 佐々木 得人

今年度は、6月12日(月)から水泳学習を始めます。水泳は体全体を使った運動で、全身の筋力を鍛え、心肺機能を高めることができます。白金小学校では、以下の3つを目標として水泳の学習を行います。

- ①水に慣れ、全身運動としての水泳を通して、健康な心身の育成をはかる。
- ②自己の能力に適した課題をもって水泳に取り組み、技術の向上をはかる。
- ③水泳学習の諸注意をよく理解し、安全に水泳ができる態度を養う。

水泳は、児童が心待ちにしている学習の一つです。

しかし、油断をすると生命に関わる大きな事故につながってしまいます。学校では、万が一に備えて、高輪消防署の方に来ていただき、心肺蘇生法の研修を行います。安全・安心な水泳学習となるように努めてまいります。



白金小学校  
Twitter

毎日更新しています。  
学校HPからも入れます。

